

授業科目名	母 性 看 護 II			担当教員	中村 美佳、園田 希	
開講年次	3年前期	セメスター	5		時間数(単位数)	30 (1)
必修選択	必修	授業形態	演習		使用教室	
授業の目的	周産期看護に必要な理論と技術について学び、周産期を中心とした母子およびその家族の看護に必要な基礎的能力を獲得する。					
到達目標	1. 母性看護 I で学んだ基礎的知識を踏まえて、周産期における対象の特性に応じた看護の視点を説明できる。 2. 母性の看護過程の展開において必要な視点および看護ケアの特性について説明できる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	本科目は、母性看護 I で学習した基礎知識を看護実践に発展させる「看護の専門性を探求する力」、さらに看護実践における様々な課題に対する「問題解決力」を身に着けるために位置づけられている。3 年後期に予定される母性看護実習に直結する科目として非常に重要である。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探求する力	
				◎	○	
授業計画						
回	授業内容		授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者
1	妊婦と家族の看護① 事例：正常妊婦 妊婦健診、NST の判読		講義 演習 (GW)	母性看護 I での学習内容（妊娠期）を復習しておく。提示課題に取り組む。	1 時間	中村 園田
2	妊婦と家族の看護② 事例：妊娠高血圧症候群、 切迫早産		講義	母性看護 I での学習内容（妊娠期）を復習しておく。提示課題に取り組む。	1 時間	中村 園田
3	妊婦と胎児のアセスメントと看護技術① 妊婦健診における全身の観察、子宮底長計測・腹囲測定、 母親学級 事例：正常妊婦		演習	母性看護 I ・ II での学習内容（妊娠期）を復習しておく。提示課題に取り組む。	1 時間	園田 中村
4	妊婦と胎児のアセスメントと看護技術② 全身の観察、レオポルド触診法、胎児心音聴取、NST 装着 事例：妊娠高血圧症候群、 切迫早産		演習	母性看護 I ・ II での学習内容（妊娠期）を復習しておく。提示課題に取り組む。	1 時間	中村 園田
5	産婦と家族の看護① 分娩第 1 期～ 3 期の産婦		講義 演習 (GW)	母性看護 I での学習内容（分娩経過）を復習しておく。提示課題に取り組む。	1 時間	中村 園田
6	褥婦と家族の看護① 経膣分娩後の褥婦		講義	母性看護 I での学習内容（産褥経過）を復習しておく。提示課題に取り組む。	1 時間	園田 中村
7	新生児の看護① 出生後 1 日目～ 5 日の新生児		講義	母性看護 I ・ II での学習内容（新生児）を復習しておく。提示課題に取り組む。	1 時間	園田 中村

8	褥婦と家族の看護② 事例：経膈分娩後の褥婦	演習 (GW)	母性看護Ⅰ・Ⅱでの学習内容（産褥経過）を復習しておく。提示課題に取り組む。	1 時間	園田 中村
9	新生児の看護② 事例：出生後 1 日目～5 日の新生児	演習 (GW)	母性看護Ⅰ・Ⅱでの学習内容（産褥経過）を復習しておく。提示課題に取り組む。	1 時間	園田 中村
10	褥婦と新生児、家族の看護 事例：経膈分娩後の褥婦および新生児	演習 (GW)	母性看護Ⅰ・Ⅱでの学習内容（産褥経過）を復習しておく。提示課題に取り組む。	1 時間	園田 中村
11	褥婦と家族の看護③ 帝王切開分娩前後の看護	講義	母性看護Ⅰでの学習内容（産褥経過）を復習しておく。提示課題に取り組む。	1 時間	中村 園田
12	褥婦と家族の看護④ 事例：帝王切開分娩後の褥婦	演習 (GW)	母性看護Ⅰ・Ⅱでの学習内容（産褥経過）を復習しておく。提示課題に取り組む。	1 時間	中村 園田
13	褥婦のアセスメントと看護技術 事例：経膈分娩後、帝王切開分娩後の褥婦 褥婦のバイタルサイン測定と全身の観察、子宮復古の観察	演習	母性看護Ⅰ・Ⅱでの学習内容を復習しておく。提示課題に取り組む。	1 時間	中村 園田
14	新生児のアセスメントと看護技術 新生児のバイタルサイン測定と全身の観察、授乳方法	演習	母性看護Ⅰ・Ⅱでの学習内容を復習しておく。提示課題に取り組む。	1 時間	園田 中村
15	母性看護Ⅱ全体のまとめ 定期試験を終えてのフィードバック	講義	母性看護Ⅰ・Ⅱにおける学習内容の中で理解不十分だった箇所についての整理を行う	1 時間	中村 園田
先行履修科目		2 年後期までに履修すべき全ての科目			
テキスト		森恵美 他：系統看護学講座 母性看護学 2 母性看護学各論 第 13 版. 医学書院, 2018. 横尾京子 他：ナースング・グラフィカ母性看護学② 母性看護技術. メディカ出版, 2019.			
参考文献		堀内成子 編集：パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護 第 2 版. 照林社, 2017. 中村幸代 編集：根拠がわかる母性看護過程 事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画. 南江堂, 2018. 仁志田博司 編集：新生児学入門 第 5 版. 医学書院, 2018. 太田操 編集：ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程 第 3 版. 医歯薬出版株式会社, 2017.			
評価方法		定期試験 50%、授業参加度 15%、課題提出 35% により評価する			
教員等の実務経験		助産師として産婦人科病棟での臨床経験がある教員が、その経験を活かし、妊産褥婦および新生児への看護について講義します。			
メッセージ		本科目は、3 年後期の母性看護実習に直結する重要な科目です。本科目での講義や演習課題（看護過程展開）への取り組みを通して、質の高い有意義な母性看護実習につなぐことができるように、しっかりと学んでいきましょう。			